

2018-04 2018.06.19

2018年6月 議事録

平成30年6月19日(火) AM10:05~12:00 東児童館調理室

出席者；長澤、半田、笹澤、神田、山口、川崎、谷澤、小沢(稲荷前1区小荒井代理)、山田、鈴木
配布資料；笹澤会長より「第12回会議書き込み資料」半田会計より「29年度会計報告」鈴木より「第11回
議事録」回覧配布した「認知症声かけ訓練 in 東のお礼とお願い」「認知症声かけ訓練まとめ」

1. 29年度会計報告：全会一致で承認
2. 回覧に載せた「認知症声かけ訓練 in 東」のお礼とお願い「文書について：会議を経ない作成文書を公表した
ことについての説明と了解の確認⇒特に質問なく終了

<議題>

認知症声かけ訓練 in 東について

まとめ；まとめ文書を読み上げ、主に参加者数などの報告。

感想・反省；

**地域の反応は想定内。市役所関係者数の多さに驚き、ならばもっとやり方を変えたほうが参加者は増えたので
は？(神田)**

谷田部東中生くらいは講座を受けてほしかった。(山口)

1 回りの講座&訓練では染み通らずに素通りする。繰り返しの開催を求む(川崎)

東では参加者が少なかった為に「この先に誰がいるのだろうか？」と不安感があった。一般道を使用するのも理由があ
るのだろうが学校の校庭を借りて寸劇のかたちでも良かったのでは？(谷澤)

**稲荷前はドアホンでお願いして参加。参加した人は「良い経験だった」という反応。茗溪の生徒が「こんにちは」の
声かけをしてくれるようになった。ミニ出前講座のようなものを取り上げてほしい。(山田)**

予想以上の人が参加してくれたと思う。中高年齢層がその地元で生まれ育った地域とは違い、ここは90%以上の
中高齢者がよそからの移住者。その割には良い数字だったと思う。(長澤)

全戸配布した回覧文書・電話して「今、回っているので参加してください」をしても無関心無反応⇒寂しい

**公園で遊んでいた子どもたちは反応が良い。見守られている高齢者が参加してくれた。「邪魔だから除け！」の対
応もありこちらは寂しいを乗り越してムカッとした。(半田)**

本よりも養成講座のほうが有意義だと思うのでこれと本番のような寸劇を加えたプログラムを毎年か数年に1度繰
返し行ってほしい。さらには小中学校での家庭教育学級や学年委員が求める毎年の行事の一つに組み込んでもら
えないだろうか。

今年度事業計画＝予算案作成のために＝

@今年度稲荷前自治会では二本松公園内に防災井戸を掘る目標を持ちたい。

防災メンバー登録を増やし、防災の日に訓練する。高齢者や障がい者を助けるためのリヤカーなども考える。防災講
演会の開催(以前社協講座で話された増田氏あるいは山口庶務 昨年度1区長の木村氏)

非常時に誰でもが確認できる「弱者マップ」を稲荷前集会所の一角に置きたい。⇒いざというときに誰をどこに助けに
行きその人の安否を誰に伝えるのか 民生委員は把握しているのだろうが守秘義務で教えてくれない。悪いことを企
んでいるのではないのに歯がゆい。つくば市HPでこの地区の防災地図が見られる。(山口)

⇒以上をふまえて今年度は「防災&連携」をテーマに？

防災訓練と危険個所 MAP・拠点づくりを行い、そのために次回からは自治会長宛の案内状に「防災担当者を出席させてほしい」旨記載。**安否確認タオル**の購入配布を検討。

他の話題）小中学生が挨拶をしてくれるようになった。子供から挨拶されると大人も自然に挨拶を返し、注意安全見守りを心掛ける。男性をどう地域に取り込んでいくか？課題

次回は7月17日（火）